

【第1問】

問1

							10									20									25
5	特	殊	原	価	調	査	と	は	、	將	来	の	經	営	行	動	を	選	択	す	る	際	に	実	施
	す	る	意	思	決	定	目	的	の	原	価	に	関	す	る	分	析	と	評	価	の	作	業	を	い
	い	、	臨	時	的	、	隨	時	的	に	行	わ	れ	る	も	の	で	あ	る	。建	設	業	に	お	い
	け	る	具	体	例	と	し	て	は	、	特	定	注	文	の	受	注	可	否	の	決	定	や	積	算
5	用	資	料	と	し	て	過	去	の	仮	設	作	業	の	コ	ス	ト	の	収	集	と	分	析	、	ま
	た	、	建	設	機	械	取	換	用	の	検	討	資	料	作	成	の	た	め	の	原	価	に	関	連
	す	る	計	算	あ	る	い	は	調	査	の	実	施	な	ど	が	あ	る	。						

問2

							10										20									25
5	正	味	現	在	価	値	法	と	は	、	投	資	に	よ	っ	て	生	じ	る	年	々	の	正	味	の	
	現	金	流	入	額	を	現	在	価	値	に	割	り	引	い	た	価	値	の	合	計	額	か	ら	投	
	資	額	を	差	し	引	い	て	、	そ	の	投	資	案	の	正	味	現	在	価	値	を	計	算	し	
5	正	味	現	在	価	値	が	プ	ラ	ス	で	あ	れ	ば	、	そ	の	投	資	は	有	利	で	あ	り	
	マ	イ	ナ	ス	で	あ	れ	ば	不	利	で	あ	る	と	判	定	す	る	方	法	で	あ	る	。な		
	お	、	設	設	備	投	資	の	資	金	に	は	資	本	コ	ス	ト	が	か	か	っ	て	い	る	た	
	め	、	キ	ャ	ツ	シ	ユ	・	フ	ロ	ー	の	割	引	率	に	は	資	本	コ	ス	ト	率	を	使	
	う	こ	と	に	な	る	。																			

【第2問】

1	2	3	4	5
B	B	B	A	A

【第3問】

問1	パワーショベルの取得価額	¥	12,000,000	
問2	甲工事現場への当月配賦額	¥	302,160	
問3	当月の損料差異	¥	10,170	記号 (XまたはY) X

【第4問】

問1	¥	150,000		
問2	¥	50,000	記号 (AまたはB)	B
問3	¥	150,000	記号 (同 上)	A

【第5問】

問1

完成工事原価報告書	
自 平成X6年11月 1日 至 平成X6年11月30日	
山形建設工業株式会社 (単位：円)	
I. 材料費	1,960,250
II. 労務費	1,372,700
(うち外注労務費	624,700)
III. 外注費	407,500
IV. 経 費	982,380
(うち外注労務費	555,800)
完成工事原価	4,722,830

問2

¥ 3,463,060

問3

①Q材料の副費配賦差異

¥ 2,600 記号 (AまたはB) A

②運搬車両部門費予算差異

¥ 3,050 記号 (同 上) A

③運搬車両部門費操業度差異

¥ 1,450 記号 (同 上) B